

十年ぶりに
小さい頃面倒を
見てくれた乳母の
愛香さんを訪ねた
僕は――

昔と変わらず
綺麗で色っぽい姿に
思い出が蘇って……♡

よしよし……
いい子ね……♡

いっぱい
吸いなさる……♡

刺激的すぎる
過去の情景が
脳裏をよぎって
……♡

ちゅ♡

愛香さん……
相変わらず
大きいっ……♡

あ♡

ちゅ♡

ヨウタ君も
そろそろ……♡

おっぱい離れ
ダメなのね……♡

あら……

まだおっぱい
吸いたいのか……？

あの
おっぱいを
僕は……

物心ついてても
ずーっと吸って
たんだ……♡

ふふふ……
久しぶりね♡

すっかり大きくなって
びっくりしちゃったわ……♡

ヨウタ君は
本当につ……♡

おっぱいが
好きなんだが
からっ……♡

ん♡

ちゅ♡

ん♡

ん♡

淫猥小説

~short short story~

愛香さんの
おっぱいで
頭がいつぱいに
なっている僕に……

全てを察した
愛香さんは
僕を強く抱擁した後
服を脱ぎ始めて…

ふふふ…
水臭い
子ね…♡

小さい頃は
あんなに
遠慮せず

一心不乱に
おっぱいにしやぶり
ついてたのにっ…♡

愛香さんっ!?

なっ
…っ

物欲しそうな目で
すーっとおっぱい
ばかり見てっ…♡

昔を思い出して
吸いたく
なっちゃったん
でしょう…?♡

ほら…♡
ヨウタくんの
大好きな
おっぱい…♡

んっ…♡

ほら…♡
いいのよ…♡

あ…♡

おっぱいっ…♡

ち…
小さい頃ずっと
吸ってた
おっぱいっ…♡

おっぱい大好き
だったものね…♡

遠慮しないで
いいのよ…♡

小さい頃
みたいに♡

いっぱい吸って
いいからね…♡

ちゅ♡

はああ
…っ♡

愛香さんの
おっぱいっ
…♡♡

キゅ♡

キゅ♡



愛香さんのおっぱいを
思い出して
しまった僕は…

ああ…

もう…♡

ヨウタ
君…♡

今日も
来ちゃったのね…?

はいはい
…♡♡♡

ほっ
…♡♡♡

あっ…♡
んっ…♡

好きにしてい
いと言っただけ♡

こんなに
毎日吸いに
来るなんて…♡

しょうがない子
なんだからあ…♡

ああ
♡

ほっ…♡♡♡

ちゅっ♡

ちゅっ♡

こうして
僕はまた♡

昔のように
愛香さんのおっぱいに
夢中な日々に戻り
してしまいました…♡